

10 脳神経外科

選択研修（1ヵ月以上）

（1）一般目標

- ①脳神経外科疾患のアウトラインを把握して、診断、治療の基礎知識を習得する。
- ②神経疾患の正しい診断と重症度が判断でき、適切に指導医への相談や脳神経外科専門医への対診依頼が判断できるようになる。
- ③脳神経外科で多い救急患者の診断、初期治療を適切に行うことができる技術を習得する。

（2）行動目標と実践（OJT）

1）診断力の習得

- ①病歴聴取と神経系の他覚的所見を適切に把握できる。
 - ・意識障害を判定し、JCS 及び GCS による表現ができる。
 - ・第 1-12 脳神経のチェックができるとともに、運動及び知覚障害の判断ができる。
 - ・腱反射、病的反射の検査と判定、知能、言語等に関する高次能機能の判断ができる。
 - ・髄膜刺激症状、筋の緊張度、委縮に関する判断ができる。
- ②単純 X 線写真、CT、MRI、血管撮影、神経内分泌検査や脳波など脳神経外科的特殊検査について、個々の症例に於ける検査の意義がわかり、所見の取り方、正常解剖と異常所見の相違が判断できる。また、比較的容易なものは自ら行い、所見を判断できる。
- ③救急患者における意識レベルの迅速で正確な判定、脱落異常所見の取り方ができ、まず、何をすべきかの判断ができる。
- ④頭痛、めまい、痙攣発作（てんかん）、運動麻痺、頭蓋内圧亢進などの患者に対する診察、検査、診断、治療に関する最低限の臨床能力を身につける。

2）治療の実践

- ①指導医及び上級医の指導のもと、CT、MRI、脳血管造影などを行い神経放射線学的診断を学ぶ。
- ②指導医及び上級医の指導のもと、無菌操作、消毒方法、縫合処置、気管切開など外科的基本手技を習得する。
- ③脳神経外科手術の助手として参加し、穿頭術、開頭、閉頭方法の手技を学ぶとともに、スタッフと共に術前、術後管理を行う。
- ④患者、家族との面談に同席し informed consent などを理解する。

【標準的週間スケジュール】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟回診 手術	病棟回診	病棟回診 手術 ストローク回診	病棟回診	病棟回診
午後	手術	脳血管撮影	手術	超音波検査 (TCD/頸動脈エコー) 手術	脳血管撮影

毎週水曜日の病棟回診およびストローク回診後症例検討会に参加

毎月第 2 火曜日のストローク会（医師、看護師、理学療法士など）に参加